

夜のまちが動き出す！夜の横浜へ私たちを連れ出すアートを発表！  
～光の花畑、海辺のオープンバー、彫刻とナイトウォーク～

## 「ZOU-NO-HANA FUTURESCAPE PROJECT 2022」

開催期間：2022年12月9日(金)～11日(日) 会場：横浜 象の鼻テラス



2022年12月9日(金)～11日(日)、象の鼻テラスは「ZOU-NO-HANA FUTURESCAPE PROJECT 2022」を開催します。本リリースでは、今回の注目作品となる5つの「アートプログラム」をはじめとした出展作品と、その見どころを発表します。

「ZOU-NO-HANA FUTURESCAPE PROJECT」は、アートの創造性を用いて公共空間の新しい使い方を提案する社会実験プロジェクト。今年は「ネクストノーマル・ナイトライフ」をテーマに光のアートイベントとして開催します。出展作品には、過去に象の鼻テラスで開催してきた「スマートイルミネーション横浜」の省エネ志向も継承しつつ、夜の公共空間の楽しみ方を提案する、多彩な光の作品が揃いました。誰かに想いを届ける光の花畑、海辺に妖艶に光るオープンバー、アート作品と象の鼻パークを歩くナイトウォークなど、人やまちとの交流を楽しめる参加型作品も多数です。他にも、あたたかな光で演出するナイトマルシェやミュージックイベント、横浜の夜景を楽しむための写真講座も開催します。

さらに、クリエイティブ・ライト・ヨコハマ実行委員会が主催する、街と光のアートイルミネーション「ヨルノヨ」とも連携し、「写真」を通じて横浜の公共空間を見つめ直す市民共創型のアートプロジェクトとして、第1回「フューチャースケープ・フォトコンテスト」を開催します。(募集期間：11月24日(木)～12月18日(日))

ぜひこの機会に貴媒体でのご紹介・ご取材のご検討をよろしくお願いいたします。

### 【開催概要】



■名称：ZOU-NO-HANA FUTURESCAPE PROJECT 2022  
(略称：FUTURESCAPE PROJECT 2022)

■テーマ：ネクストノーマル・ナイトライフ

■会期：2022年12月9日(金)～11日(日)

■時間：16:30～21:30

■会場：象の鼻テラス・象の鼻パーク

■公式サイト：<https://fsp.zounohana.jp/2022>

■主催：象の鼻テラス(スパイラル/株式会社ワコールアートセンター)

■特別協賛：株式会社 FREEing

本事業は横浜市のみまざま文化芸術事業を支援する株式会社 FREEing の協賛を受けています。



■事業構成 ★各プログラムの詳細は次ページへ

【1】アートプログラム

【2】大学・企業参加プログラム

【3】ナイトマルシェ&ミュージック

【関連企画】第1回フューチャースケープ・フォトコンテスト(11/24(木)～12/18(日)作品募集)

本リリースの内容に関するお問い合わせ ※本リリース掲載画像はこちらからダウンロードいただけます：<https://bit.ly/3Uaik9x>

象の鼻テラス FUTURESCAPE PROJECT 広報担当 南/大越/秋山

E-mail：[press@fsp.zounohana.jp](mailto:press@fsp.zounohana.jp)

〒231-0002 神奈川県横浜市中区海岸通1丁目 TEL 045-661-0602

FAX 045-661-0603

WEB <http://www.zounohana.com>

# 1 【アートプログラム】

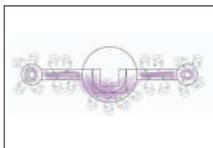
招待作家によるプログラム。本年度のテーマを表現するアート作品を制作します。

## ウラングラスで乾杯する海辺のバーカウンター



### L PACK. 《BAR 92 U》

日本の BAR 発祥の地とされる横浜・象の鼻パークの一角に、海辺を楽しむ3日間限定のオープンバーが登場。ブラックライトで妖艶に光るオリジナルウラングラスを使い、横浜生まれのカクテルを提供します。みなとみらいの夜景とともに楽しみください。



## 巨大な動物彫刻が出現！



### WAI!moto. "motoka watanabe" 《夕暮れと夜明けのあいまに》

色鮮やかな動物彫刻が象の鼻パークに出現！象の鼻堤防の先端にはそれらを覗ける望遠鏡型の作品も設置。遠く離れた空間がひとつに繋がるような感覚が楽しめます。万華鏡のように景色が見える双眼鏡制作ワークショップと、動物彫刻と歩くナイトウォークも実施予定。



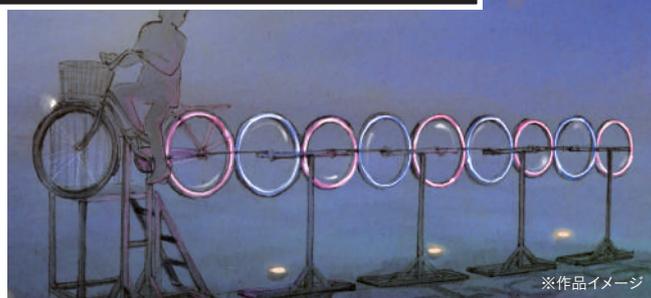
## 想いを届ける光の花畑



### 高橋匡太 《タイトル未定》

光の花畑が象の鼻テラスの芝生に広がります。花びらの光の色が五十音を表していて、誰かの想いのこもったメッセージを読み解くことができます。会場では花びらを並べ言葉を贈るワークショップも。10年間で10万人が参加した《ひかりの実》など大勢の市民と作るアートプロジェクトを展開してきた作家の新作アートです。

## 自転車を想像力という名の乗り物にして



### 東弘一郎 《自連車》

自転車を使った作品を多く手がける東弘一郎の作品。横浜で集めた8つの車輪が先頭と連動して回転！10歳以上の方に体験いただけます。「コロナで自粛期間中はどこか地に足つかず、色々なことが空回りしていた」と語る作家。自転車を想像力という名の乗り物にして「人間らしい生き方」を乗った人の心に問いかけます。



## 「SICF23」大巻伸嗣賞受賞、注目若手クリエイター



### 上野悠河 《テレ・エア・カウンターポイント (港湾にて)》

明滅する光やラジオノイズの交錯が、普段は捉えることのできない《交流》空間を表現します。AMラジオや古い蛍光灯など過去になりつつあるメディアを組み合わせることで、かつて横浜港が多くの人と文化が交わり賑わう拠点だったように、あらゆる言葉と思いが煌めく場を作ります。



\*SICF (スパイラル・インディペンデント・クリエイターズ・フェスティバル) …スパイラル (東京・表参道) が毎年開催している、若手作家の発掘・育成・支援を目的としたアートフェスティバル。2022年5月に開催した「SICF23」には169組が出展。

本リリースの内容に関するお問い合わせ ※本リリース掲載画像はこちらからダウンロードいただけます：<https://bit.ly/3Uaik9x>

象の鼻テラス FUTUREScape PROJECT 広報担当 南/大越/秋山  
〒231-0002 神奈川県横浜市中区海岸通1丁目 TEL 045-661-0602

E-mail : [press@fsp.zounohana.jp](mailto:press@fsp.zounohana.jp)  
FAX 045-661-0603 WEB <http://www.zounohana.com>

# 【アートプログラム 招待作家プロフィール】

## L PACK. / エルパック

小田桐奨と中嶋哲矢によるユニット。共に1984年生まれ、静岡文化芸術大学空間造形学科卒。アート、デザイン、建築、民藝などの思考や技術を横断しながら、最小限の道具と現地の素材を臨機応変に組み合わせた「コーヒーのある風景」をきっかけに、まちの要素の一部となることを目指す。



## 高橋匡太 / たかはしきょうた

1970年京都府出身。光や映像による作品を幅広く展開。京都市京セラ美術館、東京駅100周年記念ライトアップ、十和田市現代美術館など建築物にライティングした大型作品のほか、市民と作る大規模な参加型アートプロジェクトも数多い。今年度の開催テーマの土台となった「スマートイルミネーション横浜」で発表した作品「ひかりの実」は10年間で10万人以上が参加するプロジェクトとなった。



## WA!moto. "motoka watanabe" / ワッ!モトわたなべもとか

1981年北海道出身。都市空間と人間の関係性に興味を持ち、人々が精神的に都市空間とつながる手助けとなるよう、公共空間での彫刻作品を制作・設置する取り組みをおこなっている。主な作品に銀座4丁目 宝童稲荷神社参道“猿結参道”(2016年)、MIYASHITA PARK SHIBUYAのポルダリングウォールのシンボルアートYOUwe. (2020年)。高さ5.7mの大型彫刻"Find Our Happiness" (2021年、中国中山市)がある。



## 東弘一郎 / あずまこういちろう

1998年東京都出身。アーティスト。東京藝術大学大学院美術研究科博士後期課程在籍。星と海の芸術祭総合ディレクター。自転車と金属を組み合わせ、主に動く立体作品を制作している。宮田亮平賞受賞。サロン・ド・プランタン賞受賞。主な展示に、大地の芸術祭2022、第24回岡本太郎現代芸術賞展など。

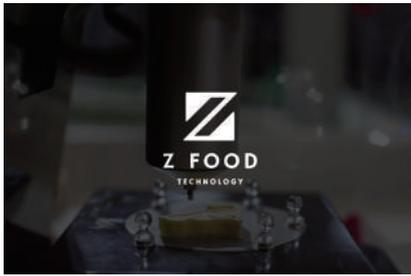


## 上野悠河 / うえのゆうが

1997年千葉県出身。“もの性”や現象を手がかりに、21世紀的現代からみた客体としての20世紀と、その主体としての自己性を拡張させたマルチ・メディア作品を発表している。現代美術家であるほか、「Mus'c」名義でミュージシャンとしても活動。「SICF23」大巻伸嗣賞、「録れコン2022」グランプリ・インストルメンタル部門優秀賞。



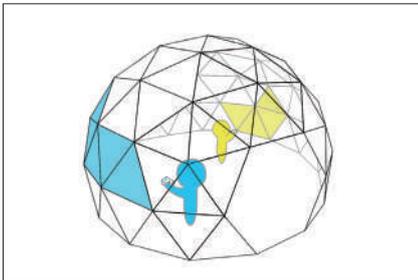
## ■企業プログラム



## FUTURE GATEWAY (KDDI 総合研究所)

KDDI 総合研究所が 2021 年に立ち上げた FUTURE GATEWAY は、未来のライフスタイルを提案する“先進生活者”を中心とした多様なパートナーとともに、これからのスタンダードを作っていくための共創イニシアチブです。KDDI 総合研究所の持つ先端技術を用いて、新しい生活様式を社会実装する取り組みを進めています。今回展示する「Z FOOD PROJECT」では、3D フードプリンタを駆使して、ナイトライフの娯楽のひとつ「夜食」をアップデート。食を通じて夜の新しい楽しみを提案します。

## ■大学プログラム

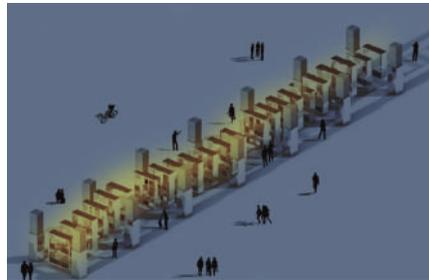
JIUメディアデザインチーム (城西国際大学  
メディア学部ニューメディアコース)

デバイスで光の色を変えて遊ぶフラードーム。自分の色と相手の色を重ね一緒に遊んだり、前に遊んだ人の残した色を通して間接的に人との繋がりを感ずることが出来ます。その光はドームの外の人にも届きます。公共空間での「挨拶」に着想を得た作品です。



## はまみらいプロジェクト (横浜国立大学)

「公共空間＝誰も拒まずに受け止めてくれる場」と考え、壁のない透明テントを制作。その下では、どこと繋がっているかわからないパイプ電話や絵しりとりで、その場にいる人／過去に訪れた人との、視覚／聴覚コミュニケーションを生む場を作ります。

チーム・ソラ (東京都立産業技術大学院  
大学 × 読売理工学院 × 関東学院大学)

ボックス型のオブジェが並ぶ様子はまるで象の鼻のよう。ミラー素材を使用したボックスはソーラー照明や風で微細音を起こす装置を内包し、昼夜、周囲の景色を取り込み抽象的に映し出してくれます。

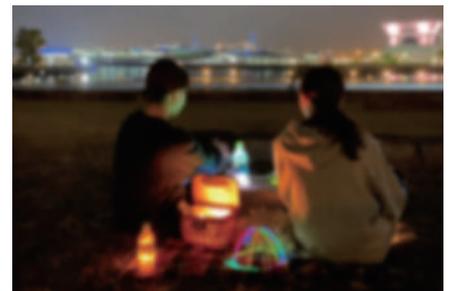
Youyang Hu + Chiaochi Chou + 寛康明  
(東京大学寛康明研究室)

周辺環境を植物の目線で読み換え体感するインスタレーション。屋外に並べられた植物の生体電位信号を取得し、風や雨の存在を機械学習を経て光や音に変換します。



## ハマの屋台プロジェクト (横浜国立大学)

テーマは「あたたかい場所づくり」と「柔軟なかたち」。冬空に灯る暖かな光のもとに集い、暖を取る。光のかまからは、みんなが光を持ち寄ってつくる「あたたかい」居場所です。あなたも一度暖まっていきませんか？



## 横浜市立大学鈴木研究室 (横浜市立大学)

「光る夜ピクニックキット」で、夜のピクニックを楽しもう。電気を使わず光る素材や蛍光塗料、廃材などを活用して夜を楽しむキットを制作しました。遠くから見れば参加者もイルミネーションの一部に！



### ■ナイトマルシェ&ミュージック

横浜を中心としたクリエイターたちによるナイトマルシェ&ミュージックイベント。「音が在る」をテーマとした空間演出やイベントを行う「アリオト」による光と音の演出が、来場者をあたたかく迎えます。

日程：2022年12月9日(金)～11日(日) 16:30～21:30

会場：象の鼻テラス・象の鼻パーク



スマホコース講師：中村勇太

一眼コース講師：森日出夫

### ■夜景写真講座

横浜の夜を写真で楽しむために、夜景で失敗しないテクニックや効果的に撮る方法を伝授。「フューチャースケープ・フォトコンテスト」への出品をめざします。

①スマホコース 講師：中村勇太(夜景写真家)

12月9日(金) 18:00～19:00

参加費：1500円 定員：10人(お子様の同伴歓迎)

②一眼コース 講師：森日出夫(写真家)

12月10日(土) 17:00～18:00

参加費：1500円 定員：10人

詳細・お申し込み方法：HP (<http://fsp.zounohana.jp/2022>) からご確認ください。

### ■スマホで撮ってプリントを象の鼻テラスに貼ろう

みんなの写真で象の鼻テラスを盛り上げよう！象の鼻テラス・象の鼻パークの夜景をスマホで撮って送信。テラス内でプリントした写真を受け取ったら、メッセージを書いて飾って、会場を盛り上げよう！

日程：2022年12月9日(金)～11日(日) 18:00～21:30

会場：象の鼻テラス

参加費：無料(1日200人まで)

## 【関連企画】第1回「フューチャースケープ・フォトコンテスト」

2022年11月24日(木)から12月11日(日)までに撮影された「横浜夜景」、主に「フューチャースケープ・プロジェクト」および「ヨルノヨ(注1)」を題材に撮影された写真を募集します。応募作品は2022年12月26日(月)～2023年1月3日(火)の期間、象の鼻テラスで展示します。

募集期間：2022年11月24日(木)～2022年12月18日(日) ※郵送受付、12月18日(日)必着

テーマ：「横浜の光」

賞：金賞(6点) 象の鼻テラスでの合同写真展を開催(2023年度開催予定)  
銀賞(12点程度)

審査員：森日出夫(写真家)、大澤紗蓉子(横浜美術館学芸員)、岡田 勉(象の鼻テラス アートディレクター)

詳細・応募方法はこちら：<https://fsp.zounohana.jp/2022/programs/1st-futurescape-photo-contest/>



注1)ヨルノヨ…令和2年から様々な企業・団体が参加して行っている都心臨海部のイルミネーションイベント。今年度は2022年11月24日(木)～2023年1月3日(火)に開催。

## ■夜のまちが動き出す！開催テーマは「ネクストノーマル・ナイトライフ」

コロナ禍を経て、「夜」の楽しみ方も、都市の景色も、公共空間の役割も、大きな変化を経験しました。

今回はそうした社会の動きを踏まえ、クリエイティブ・ライト・ヨコハマ実行委員会が主催する、街と光のアートイルミネーション「ヨルノヨ」とも連携しながら、アートを通じて、創造的な「夜」を提案します。

会場では、開催テーマに即した夜の公共空間の楽しみを提案するプログラムを展開。今年は特に、人と人／人とまち／離れた場所と場所など、コロナで一度途絶えた「繋がり」「交流」を取り戻すことを意識した作品が多く集まりました。

## ■「スマートイルミネーション横浜」から引き継がれる、過度に環境に負荷をかけない「省エネ」を意識した光のアートイベント

今年のFUTURESCAPE PROJECTは、2011年～2019年に象の鼻テラスで開催していた「スマートイルミネーション横浜」のコンセプトを引き継いでいます。「スマートイルミネーション横浜」は、東日本大震災により電力不足が発生した2011年にスタートしたプロジェクトで、省エネ技術とアートを融合し、環境にやさしい、未来の夜景を提案してきました。今回のFUTURESCAPE PROJECTでも、使用電力を抑えた作品、クリーンエネルギーで発電するなど省エネ志向の作品が多く集まりました。

## ■アートの創造性を、公共空間活用やまちづくりに活用する

今、過ごしやすく魅力的なまちづくりには、官民が連携して公共空間を活用していくことが不可欠です。

象の鼻テラス・象の鼻パークは複数の管理者が存在する横浜の港湾エリアに立地します。公共空間でアートプログラムを展開するには公的規約や制約も多いですが、2009年の開館以来、市やアーティストと対話を重ねながら一つ一つ課題と向き合ってきました。FUTURESCAPE PROJECTは、それらの経験を活かし、アートの創造性を用いて象の鼻テラス・象の鼻パークの新しい使い方を提案し、横浜の公共空間をより良い場とすることをめざしています。

### ■ZOU-NO-HANA FUTURESCAPE PROJECTとは？



象の鼻テラス開館10周年記念  
「FUTURESCAPE PROJECT」(2019) 象の鼻パーク  
Photo: Ryusuke Ohno  
(c) Arts Commission Yokohama

「ZOU-NO-HANA FUTURESCAPE PROJECT」は、アートの創造性を用いて公共空間の新しい使い方を提案する社会実験プロジェクト。SDGs達成にも貢献することも視野にいれ、「環境」「災害」「食」「健康」「教育」「花と緑」の6分野にフォーカスし、2019年の初開催以降、アーティスト・市民・企業など多様な主体と共に推進しています。

### ■象の鼻テラスとは？



Photo: Katsuhiko Ichikawa

横浜市開港150周年事業を機に2009年開館。横浜港発祥の地である象の鼻パーク内にアートスペースとカフェを併設したレストハウスとしてつくられた、横浜市の都市ビジョン「文化芸術創造都市クリエイティブシティ・ヨコハマ」を推進する文化観光交流拠点の一つ。開港当時から異文化と日本文化がこの土地で出会ってきたように、人や文化が出会い、つながり、新たな文化を生む場所を目指しさまざまなアートプログラムを開催しています。横浜市文化観光局の委託により、スパイラル/株式会社ワコールアートセンターが運営しています。

## 【本プロジェクトのご取材・会場撮影について】

- 下記の日時におきまして会場取材・撮影を受付します。ご希望の方は「希望日時・媒体名・お名前・ご連絡先」をメール「[press@fsp.zounohana.jp](mailto:press@fsp.zounohana.jp)」までご連絡ください。

設営風景 12月8日(木)

18:00～21:30 (作品設営の様子をご取材いただけます。アーティストへのご取材も可能です。)

開催期間 12月9日(金)～11日(日) 16:30～21:30

- 本事業ディレクターやアーティストへの取材・出演依頼も随時調整いたします。お気軽にお問い合わせください。

本リリースの内容に関するお問い合わせ ※本リリース掲載画像はこちらからダウンロードいただけます：<https://bit.ly/3Uaik9x>

象の鼻テラス FUTURESCAPE PROJECT 広報担当 南/大越/秋山

E-mail：[press@fsp.zounohana.jp](mailto:press@fsp.zounohana.jp)

〒231-0002 神奈川県横浜市中区海岸通1丁目 TEL 045-661-0602

FAX 045-661-0603

WEB <http://www.zounohana.com>